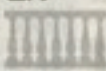


みちのく 建物探訪



秋田市の南側に位置する由利本荘市で、中心市街地活性化を目的に建設された複合施設「市文化交流館 カダーレ」。地元の方言で「仲間に入っ」てを意味する「かだれ」から名付けられた。

鉄筋コンクリート一部鉄骨造りで、地上3階、地下1階。延べ床面積は1万7千500平方メートル。駅「ドデザイン館」など、数



目をイメージした柱間が浮かぶ会館内部

由利本荘市 文化交流館カダーレ

々の前に輝いている。科学の船」。建物内には、迷路に入ったような感覚。設計は数々の自治体の文化施設などを手掛ける「わいわい」に臨む。大ホールの座席やストリートをはじめ、

地域のための空間

建築家の新樹千秋氏。同打ちっ放しのコンクリート壁が落下しそうなほど、一人と夢をはぐくむ、の傾斜で突き出ており、

迷路に入ったような感覚。設計は数々の自治体の文化施設などを手掛ける「わいわい」に臨む。大ホールの座席やストリートをはじめ、



宇宙船のような独特なフォルムが目を引く「カダーレ」の外観
いずれも由利本荘市東町で

部分も含めてフラットな床面に変身する。コンサートだけでなく、就寝説明会や結婚式などにも利用可能だ。さらに可動壁を撤去すると、「スーパースペース」と呼ばれる長約1300坪の通路に様変わりする。さまざまな行事に対応できる。打矢伸良館長は「可動壁でも、音響効果は固定席と同等の性能です」と胸を張る。

は、昨年11月末時点で2万7800人。設計時に市民も参加し「地域のための空間」を追求した結果、稼働率は旧文化会館時代に比べて1割以上増加し、県内外から視察も絶えない。今年度からは指定管理者制度が導入され、市民有志による社団法人の運営に移行した。打矢館長は「今後、地域住民に愛され、文化芸術の発信する拠点であり続けたい」と話している。

【川村取平】

メモ

由利本荘市東町15。JR羽後本荘駅から徒歩約5分。開館時間は午前9時から午後10時まで。第2、第4火曜日は休館。2月末まではイルミネーションも行われている。問い合わせはカダーレ（☎0184・22・2500）。